

トピックス

◎桶屋町町内会(古川國昭会長)が市民活動表彰を受賞

夜警(火の用心)活動が町内会有志10名(大人6名・子ども4名)により、平成16年より再開、地域の自主防災活動として高齢者と子ども会のふれあいが始まり、町民の自主的参加と関心の高揚が生まれ、持続する活動が表彰の対象となり、平成21年11月7日に表彰式がありました。



◎五臓圓ビル(二階町二丁目)の再生プロジェクト始動



昭和6年に建築され、昭和18年の鳥取大震災、昭和27年の鳥取大火にも難を乗り越えた五臓圓ビルも老朽化が進み、取り壊しの運命かと思われましたが、「五臓圓ビルを保存する会」が結成され、建築改修と保存活用に向けての募金活動が始まりました。五臓圓ビルを保存する会のお問い合わせ先

鳥取市元町274-6 智頭街道商店街振興会内・☎0857-21-7995

◎12月『めだかサークル遷喬』はクリスマス会を開催

平成11年から「めだかサークル遷喬」として、遷喬地区民生児童委員が中心となり毎月1回、三歳児未満を子育て中のお母さん達が、子どもと一緒に楽しい時を過しながら、栄養士、保健師、歯科衛生士、保育士さんたちのお話を聞いたり、質問したりの有意義な活動が続けられています。12月10日は、楽しいクリスマス例会になりました。



◎まちづくり協議会後援の

第1回「まちなかと中山間地老世代交流会」12月13日に開催



地域の活性化策として、NPO法人ラーバンマネジメントが主催する「まちなかと中山間地老人世代交流事業」の主目的である、遷喬地区老世代住民と国府町上地地区老世代住民による交流会が開かれ、「生きがいについて考える」のテーマで活発な意見交換がありました。

◎12月19日(土)ふれあい市(朝市)大盛況

毎月第3土曜日に開かれる、「新町ふれあい市・12月市」は久方振りに大賑わいでした。元魚町までの通りに14の店が並び、沢山の人が来られました。カニ汁の無料配布もあり、特に包丁研ぎは大人気でした。毎月の賑わいに向け、地区全体が協力しましょう。



三月下旬 遷喬まちづくり 通信発行	二月中 まち協・全体会	一月二十五日 まち協 お年寄り部会	一月十九日 まち協 にぎわい部会	一月十八日 まち協 子ども部会	一月十日 遷喬地区 とんど祭り	一月四日 公民館 仕事始め	一月二日 遷喬地区 新年互礼会	今後の予定
-------------------------	----------------	-------------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	---------------------	-----------------------	-------

編集後記

「まちづくり通信」第1号をお届けしました。去年の世相を表す一文字は「新」でしたが、遷喬地区まちづくり協議会も新しくスタートし、活動計画づくりに取り組んでいます。地区内のさまざまな活動を紹介しながら、皆様とまちづくり協議会をつなぐ広報紙になるよう努めて参りたいと思います。

各部選出の編集委員…(お年寄り)大和谷 朝(にぎわい)山本 静彦・尾崎 佐智子(子ども)和田 哲昭(文責;和田 哲昭)

遷喬まちづくり通信 No.1

☆☆☆2010年1月号☆☆☆

発行;遷喬地区まちづくり協議会
(遷喬地区公民館内;☎27-8562)



「遷喬まちづくり通信」発刊にあたって

遷喬地区まちづくり協議会 会長 浦木 清

昨年9月29日に実施された設立総会において、正式に「遷喬地区まちづくり協議会」が誕生致しました。これを機に、5名の編集委員を中心に情報発信誌が発刊されることになり、その第1号の発行の運びとなりました。発刊にあたり一言ごあいさつ申し上げます。

過日、鳥取環境大学「まんぐるーじゅ」(まちづくり研究グループ)の智頭街道筋及びその横筋を対象とした「住民のまちへの想い」のヒアリングの中間報告会があり、その中で：

“日常生活の上では、地域で必要な買い物ができ、駅・役所・病院も近く、教育面・文化面でも恵まれており、歩いて生活でき、静かでもあり、現状の暮らしに満足。”と多くの方が答えておられます。また、“近隣の人間関係も深すぎず、浅すぎず適度である。”とっておられる住民の方が多い反面、“ご近所の人間関係が希薄で、連帯感も低下してきており、町内会の人手不足。”を指摘されている方もあります。

現在の地区住民の“想い”がほぼ反映されているのかなと感じました。

しかしながら、少子高齢化・中心市街地の空洞化の急速な進行の中で、5年後、10年後の遷喬地区を想像し、背筋がいささか寒くなるのを感じるのは私だけでしょうか。「まちづくりレディーズ」の方々の継続的な活動、智頭街道商店街等有志による「五蔵円ビルの保存活用」を通しての市街地活性化活動等々新しい“動き”に地域の多くの方々を駆り立てているのは、この思いではないでしょうか。

私たちの「遷喬地区まちづくり協議会」には、皆さんの“目を惹く”ような華々しい活動はできないかもしれませんが、遷喬地区の課題を“高齢者に係ること”、“子どもたちに係わること”、“賑わいに係わること”の3つに絞り、【お年寄りにやさしいまちづくり】部、【子どもたちにやさしいまちづくり】部、【にぎわいのあるまちづくり】部の3部会で、**ふれあい**と**交流**をキーワードに、来年度から具体的にどんな活動ができるか、現在協議を積み重ねているところです。「まちづくり活動」の基本は、まず“町内から”が私の持論でもあり、地道に、こつこつと活動を続けられるよう頑張っていきたいと考えています。

「遷喬まちづくり通信」が地域の皆様に愛読いただけますことを願い、あいさつとさせていただきます。